

# 福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	産業政策部 産業観光課												
	作成責任者	芦田 直也												
	事業名	ふるさと就職おうえん事業												
	会計情報	款	商工費	項	商工費	目	商工業振興費	会計	一般会計	事業コード	320207	決算付属資料	180	頁
	施策体系	施策コード	060401	施策名	就業支援を充実させる									
	開始年度	平成17年度												
	終了予定年度	令和2年度												
	関連計画等													
	根拠法令等													
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	高校生をはじめとする若者の地元企業への理解と関心を高め、地元への定着と地元企業の人材確保につなげるとともに、福知山地域の事業所と求職者との出会いの場を創出することで雇用の安定を図り、持続可能な地域雇用を実現をめざす。										
	対象者	就職希望者	対象者数	1,959	単位あたりコスト	4.7						
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
	委託先・実施主体等	福知山雇用連絡会議、京都府北部地域連携都市圏形成推進協議会、北京都ジョブパーク										
	事業概要	・合同就職面接会を開催。市内企業と一般求職者・大学生・UIJ希望者等とのマッチングの機会を提供する。 京都府北部7市町合同企業説明会(5/23)、綾部・福知山合同就職フェア(6/24)、ふくちやま就職フェスタ2019(8/8)、 福知山・綾部合同就職フェア(11/11)、京都北部合同企業説明会in福知山公立大学キャンパス(3/9)など ・高校生ワークショップ(10~2月)や企業見学バスツアー(3月予定)を開催。若者に地元企業を知る機会を提供する。 ・北京都ジョブパークとの共催で、常時、各種セミナーやカウンセリングを実施し、市民の就業とスキルアップを支援する。 ・その他、新入社員合同研修(6/18)、企業ガイド発行(7月)、公正採用啓発、人権センターでの就職支援セミナー・パソコン講座等も実施。										
主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容							H30経費			
	報償費	臨時保育ルーム開設による保育サポーター謝礼 4人							33			
	委託料	パソコン講座事業実施業務(エクセル資格取得講座 全8回)							153			
	負担金補助及び交付金	福知山雇用連絡会議負担金、北部連携都市圏負担金							3,137			
関連事業												

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額				
配当予算	①当初	2,190	3,137	3,412	3,587	2,923			
	②補正予算			0					
	③流充用額	0	0	△ 89					
	④繰越額計	0	0	0	0	0			
前年度繰越		0	0	0	0				
	次年度繰越		0	0	0				
予算と執行の状況	一般財源	262	0	0	664	0			
	国支出金	1,095	473	473	229				
	府支出金	0	0	0	0				
	地方債	0	0	0	0				
	その他特財	833	2,664	2,939	2,694	2,923			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	地方創生推進交付金	種類	国庫補助金	実績金額	474	決算付属資料	18	頁
	特財名称	ふるさと就職おうえん事業基金繰入	種類	基金繰入金	実績金額	2,849	決算付属資料	36	頁
人件費	1.0/0	1.18 / 0	0.74 / 0	0.74 / 0					
⑤概算人件費	8,000	9,440	5,920	5,920					
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	10,190	12,577	9,243	9,507					
⑦執行額	2,190	3,137	3,323						
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%					

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		就職内定者数	人	42 / 40	47 / 40	85 / 40	/ 50	50
	ワークショップ参加高校生数	人	243 / 150	125 / 150	235 / 150	/ 150	150	
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標	
	就職面接会参加企業数	社	187 / 160	174 / 160	443 / 160	/ 160	160	
	単位あたりコスト		11.7	18.0	7.5			
	就職面接会参加者数	人	334 / 300	273 / 300	776 / 250	/ 250	250	
	単位あたりコスト		6.6	11.5	4.3			

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	持続可能な地域の実現には、雇用の定着、促進、安定化が必要不可欠である。特に昨今では、若者の都市部への流出や人材不足が全国的な課題となっている。 国や府、商工会議所、商工会、長田野工業センター、シルバー人材センター等の関係機関が連携して、各種の雇用をめぐる課題へ取り組む必要がある。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	関係機関で「福知山雇用連絡会議」を組織し、主に福知山市・ハローワーク福知山・北京都ジョブパーク・福知山商工会議所の4つの機関が業務を分担し、効率的な業務の推進を図っている。 また、府北部の総合就業拠点である「北京都ジョブパーク」が福知山市内にあることから、共催により、市民の就業支援にあたっている。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	福知山管内の毎月の有効求人倍率や、全国的な雇用情勢などの動きを「福知山雇用連絡会議」を構成する各機関で共有し、効果的な取り組みとなるよう努めている。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年度から「北京都ジョブパーク事業」を統合して実施しており、就職面接会の人数は、平成30年度から「北京都ジョブパーク事業」分も含めている。</li> <li>企業の人材不足解消のため、ターゲットを概ね60歳以上にしぼった高齢者向けの合同就職面接会「シニア・ワーキングフェア福知山」を初めて開催し、企業30社に対し、求職者150人もの参加があった。</li> <li>都市部の大手企業が取り組んでいる学生のインターンシップ受入れを、地方でも進めるため、合同企業面接会の会場で、インターンシップ可能な企業の紹介を開始した。(11/12の福知山綾部合同就職フェアでは、出展95社中75社がインターンシップの取り組みに同意)</li> </ul>		
今後の課題及び方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>雇用情勢としては、福知山公共職業安定所管内の有効求人倍率は、3月末で昨年同月と同様の1.52倍であり、1年以上の期間高い倍率で推移し、求職者にとっては雇用環境の改善だが、事業所側から見れば非常に厳しい人手不足の状況に至っている業種もあり、事業所の人材確保が喫緊の問題となっている。合同企業面接会への参加状況も、求職者の参加は減少し、逆に事業所の出展希望は増加傾向にある。</li> <li>経団連の就活ルール(3月説明会解禁、6月面接解禁)が撤廃となるため、2020年以降は都市部の大手企業が早期に学生の囲い込みを始めるため、地方での若者人材の獲得が更に困難になると予想されることから、高校生ワークショップ等で、都市部に進学する前の段階で、地元就職への興味や理解を深めてもらうと同時に、一度都市部に出た若者がUターンがしやすい環境を整えるため、移住定住事業や北京都ジョブパークなどとの連携を強化し、柔軟に対応していく。</li> </ul>		

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
来年度方針	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 廃止/休止</li> <li><input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替</li> <li><input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し</li> <li><input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し</li> <li><input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし</li> </ul>	本年度から北京都ジョブパーク事業が統合され、より連携して事業を進めている。本年度は、昨年度と比較すると全体的に合同就職面接会で就職希望者の減少が見られるが、それでも企業からの参加希望は多いため、事業の継続が必要である。
	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 維持</li> <li><input type="checkbox"/> 組替</li> <li><input type="checkbox"/> 縮減</li> <li><input type="checkbox"/> 廃止/休止</li> <li><input type="checkbox"/> 拡充</li> </ul>	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

# 福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	産業政策部 産業観光課												
	作成責任者	芦田 直也												
	事業名	試行雇用おうえん助成金交付事業												
	会計情報	款	商工費	項	商工費	目	商工業振興費	会計	一般会計	事業コード	320213	決算付属資料	180	頁
	施策体系	施策コード	060401	施策名	就業支援を充実させる									
	開始年度	平成23年度												
	終了予定年度	平成30年度												
	関連計画等													
	根拠法令等	福知山市試行雇用おうえん助成金交付要綱												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	就職・再就職が困難な求職者を試行的に短期間雇用(原則3か月間)する国のトライアル雇用制度を市が推進することにより、就職困難者の雇用機会の増加と起業の人材確保の推進を図る。									
	対象者	市内事業所	対象者数	4,135	単位あたりコスト	0.6					
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ( )									
	委託先・実施主体等										
	事業概要	国の「トライアル雇用奨励金制度」の給付を受けた事業所に対して、交付奨励金の1/2を限度として福知山市が上乗せ助成する。就職困難者を原則3ヶ月のトライアル雇用により、常用雇用への移行のきっかけとしていただく制度。雇用した事業所への助成額は雇用対象者1名につき月額2万円・支給上限額3か月分まで。									
主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容					H30経費				
	負担金補助及び補助金	試行雇用おうえん助成金					1,275				
関連事業											

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額						
	配当予算	①当初	4,420	4,240	1,800	0	0					
		②補正予算			0							
		③流充用額	△ 40	△ 18	0							
		④繰越額計	0	0	0	0	0					
	前年度繰越			0	0	0	0					
		次年度繰越		0	0	0	0	0				
	財源内訳 (①④⑥内訳)	一般財源	0	22	0	0	0					
		国支出金	2,190	0	0	0	0					
		府支出金	0	0	0	0	0					
		地方債	0	0	0	0	0					
	その他特財	2,190	4,200	1,800	0	0						
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	試行雇用おうえん助成金交付事業基金			種類	基金繰入金	実績金額	1,275	決算付属資料	36	頁
		特財名称				種類		実績金額		決算付属資料		頁
	人件費	0.2/0	0.2 / 0	0.1 / 0	0 / 0							
⑤概算人件費	1,600	1,600	800									
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	5,980	5,822	2,600									
⑦執行額	4,380	2,458	1,275									
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	100.0%	58.2%	70.8%									

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		常用雇用となった人数	人	50/59	29/59	15/59	/	30
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		試行雇用助成金の支援を受けた人	人	71/75	43/75	22/30	/	30
		単位あたりコスト		61.7	57.2	58.0		
単位あたりコスト		/	/	/	/			

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	△	福知山市の有効求人倍率はおよそ1.6倍程度で推移している状況では、人手不足感があり、優先度が高いとは言えない。新規受付は平成29年度を持って終了し、平成30年度は支払のみ。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	△	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	国のトライアル雇用奨励制度の金額に応じて支給するため、効率的な事務が可能となる。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	企業が就職困難者を雇用しやすくなるため、就職困難者への就職支援としては有効的である。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		就職困難者を雇用する事業所を支援し、就職困難者の雇用機会を増やすことを目的としており、その点については一定の効果は認められる。	
今後の課題及び方向性		平成29年度を以って助成金の受付を終了。平成30年度は前年度に申請のあった事業所に対しての助成金交付のみ。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

	方針区分	内容
来年度方針	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	平成30年度をもって廃止。
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】